# 平成24年度地域密着型金融の取組実績について

当金庫は、創立以来「地域社会の発展に貢献する」ことを経営理念としており、地域密着型金融の基本方針の下、地域密着型金融を恒久的かつ積極的に推進することとしています。地域密着型金融の取組みは、地域金融機関として地域社会の発展や地域の活性化への重要な取組みと認識しており、平成 24 年度においても積極的に取り組んでまいりました。平成 24 年度の取組実績は、以下のとおりとなりましたので報告いたします。

今後も、地域社会の発展や地域の活性化に貢献するため、態勢の整備に努めるとともに、 推進を強化してまいります。

## 1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化

経済産業省中部経済産業局の「中小企業支援ネットワーク強化事業」への認定を受け、 中小企業診断士などのアドバイザーによる専門家派遣や定期的巡回の実施などにより、 様々なライフサイクル応じて、地域の事業者の抱える経営課題の解決、改善や経営改善・ 事業再生に向けたきめ細かい支援を実施しました。

平成24年度の具体的な取組みとしましては、行政上の中小企業支援ツール(補助金、助成金等)の活用やビジネスマッチング、セミナー等の開催、またコンサルティング機能を発揮した経営改善支援等に取組み、以下のとおりの実績となりました。

#### ○ 経営相談への対応

経営相談の受付事業者85先(未取引先を含む)、延べ相談件数337件。

うち「中小企業支援ネットワーク強化事業」の支援機関として**専門家派遣を行った事業所数は39先**。

### 〇 中小企業支援ツールの活用

事業者の技術の高度化や事業化を支援するため、以下の行政上の中小企業支援ツールを活用し、補助金の採択や事業認定等を受けました。

- 「地域需要型企業創業補助金」 採択1先
- •「中小企業技術革新挑戦支援事業」 認定2先
- 「中小企業応援ファンド」 認定1先
- •「地域産業資源活用事業」 認定2先
- ・「円高・エネルギー制約対策のための先端設備等投資促進事業補助金」 採択1先
- 「ものづくり中小企業小規模事業者試作開発等支援補助金」

25年3月に補助金説明会を2回開催、個別相談会を9日間実施

25年3月開始の第一次募集での申請35先 うち採択26先 (25年5月)

# 〇 ビジネスマッチング支援

当金庫取引先企業同士のマッチングを4件支援。

「しんきんビジネスフェア」へ5先出展。

信金中央金庫と連携して製造業マッチングサイト「イプロス製造業」にものづくり関連取引先**15先を登録**。

## 〇 経営改善支援

当金庫選定の経営支援先や経営改善の相談を受けた先へ専門家等を活用した支援を実施。うち、「事業再生計画」5先策定。

経営改善支援等の実績はこちらを参照ください。

## 〇 セミナー等の開催

- ・「びしん経営塾 21」(若手・次世代事業者向け勉強会) 計6回開催 会員数43名 講師:中部大学(産学連携締結先)児玉充晴教授
- ・「経営力向上セミナー」

テーマ: 社員のやる気を高める組織づくり 出席者32名

・「次世代ものづくり技術研究会」

参加登録事業者31社

企業視察、先進企業の開発事例研修、ものづくり補助金説明会を実施

#### 2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

当金庫では、不動産担保や個人保証に過度に依存しない融資を徹底するため、行政上の中小企業支援ツール等の利用による第三者的視点や専門的な機能を活用することで事業価値を見極めるノウハウの吸収に努めています。

平成25年2月より開始された「でんさいネット」(電子債権取引)の活用や売掛債権担保融資や動産担保融資(ABL)の普及に努めました。また、資本性借入金の活用についても導入の検討を行っています。

## 3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

当金庫では、地域の活性化に繋がるサービスの提供や貢献活動を実施しています。 地域の活性化に貢献するためには、地域との連携が必要であることから、学校法人一宮 女学園の「修文地域研究センター」との産学連携協定を締結しました。

また、地域の未来を担う子供たちに対して、金融についての知識や認識度を高めてもらうため、「職場体験」や「金融出前講座」を実施しています。平成24年度は、3中学校で職場体験、2中学校で金融出前講座を実施しました。

さらに、地元一宮市の経済的、社会的活性化を図るため、当金庫が呼びかけして地元の学校や業者、NPO等をメンバーとして「一宮活性化プラン協議会」を立ち上げ、第一弾の活性化プロジェクトとして「138 ひつじプロジェクト」の推進を開始しました。